

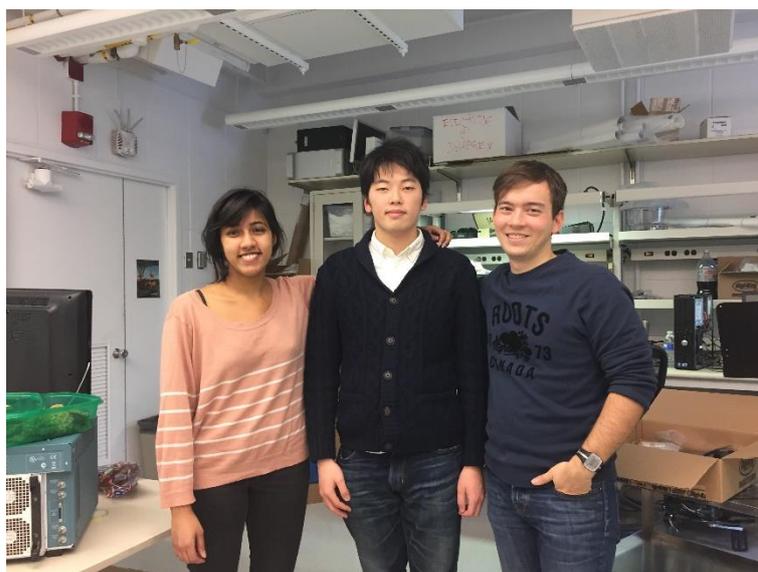
ボストンでの学会参加とプリンストン大学における滞在を終えて

電気系工学専攻 博士課程 1年 染谷研究室 松久直司

私は 2014 年 11 月 30 日から 2014 年 12 月 4 日の期間で、アメリカのボストンにて開かれた国際学会(Material Research Society Fall Meeting 2014)に参加し、有機光センサに関する最先端の研究発表を聴講し、私も口頭発表で有意義なディスカッションを持つことができた。

そのあと 2014 年 12 月 5 日から 2014 年 12 月 22 日の期間でアメリカのプリンストン大学 Sigurd Wagner 教授、James C. Sturm 教授の研究グループで研究を行った。Wagner 教授らは、無機半導体薄膜トランジスタに関する研究を行っている。私は、”無機薄膜トランジスタの高周波応答”をテーマに研究を行った。実験の中でどういう点で無機薄膜トランジスタが優れており、劣っているかを染谷研究室における有機薄膜トランジスタに関する研究と照らし合わせて理解することができた。およそ 2 週間という短い滞在ではあったが、薄膜無機半導体プロセスと高周波応答測定手法を学ぶことができ、染谷研究室の一つの目標である生体内での電気信号取得に関して非常に重要な知見を得ることができた。

最後に、このような素晴らしい滞在をサポートしてくださった ALPS 関係者の皆様、Wagner 教授・Sturm 教授研究グループの皆様、染谷研究室の皆様に感謝申し上げます。



プリンストン大学滞在先にて共同研究者の Yasmin, Warren と筆者